

スクールカウンセラー 全校に配置を！

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049

11月29日、奥州市議会第4回定例会が開会し、12月3日から一般質問が始まりました。日本共産党奥州市議団は、全員が質問に立ちます。今回は、3日の佐藤美雪議員の質問についてお知らせします。



いじめ、不登校対策について

佐藤美雪議員は、いじめ、不登校件数が全国で過去最多となり、奥州市においても昨年度、小中学校合わせて、いじめが537件、不登校が223人と年々増加している状況を取り上げ、市のいじめ、不登校対策について質しました。

教育委員会は、いじめ、不登校対策として、児童生徒の居場所づくりや登校しやすい環境を整えること、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる相談、支援体制をとっている。また、不登校児童生徒の受け皿としてフロンティア

スクールカウンセラーの
未配置校は11校

奥州、同江刺の2箇所を設置。50名ほどが利用登録しており、昨年度同時期と比べ、倍加している、と述べました。

佐藤議員は、県から派遣されているスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーについて、十分に対応できていない、と指摘。市独自の取り組みを検討すべきだ、と質しました。

教育委員会は、スクールカウンセラーは市内小中学校に7名、スクールソーシャルワーカー



は中学校5校に1名を配置して対応しているが、未配置の学校もあるため、相談の希望に十分に対応できている状況ではない。市独自では財政面でもなかなか難しいが、引き続き県に対して要望をしていきたい、と述べました。

苦しんでいる児童生徒、
親に寄り添った対応を

親に寄り添った対応を

佐藤議員は、スクールカウンセラーが未配置の小学校において、相談できる体制についての周知がないため、いざ、相談したい時にどうしたらいいのかわからない状況がある。児童生徒、親に寄り添い、いじめ、不登校の重大事態に陥る前に早期の相談、対応ができるようにすべきだ、と主張しました。

児童生徒の学校生活を支える
トイレ洋式化の促進を

トイレ洋式化の促進を

次に、佐藤議員は児童生徒が安心して学習できる環境の基となる、トイレの洋式化について質しました。

教育委員会は、トイレの洋式化の計画として、令和8年度末の60%を目標とし、令和6年度末で56.4%と設定。本年度末で約58%を見込んでいる

状況であるが、少しでも多く洋式化を進められるよう、関係部局と協議していく、と述べました。

快適なトイレ環境の整備を

佐藤議員は、「便座が冷たくて冬は使用できない」、築50年の学校では「臭気が廊下や教室に広がる」という実際の声を取り上げ、対策を求めるとともに、インクルーシブ教育や災害避難所の観点からも多目的トイレなど、誰でも利用できるトイレ

レの設置を検討すべき、と主張しました。

※インクルーシブ教育：

障害や病気の有無、国籍、性別など様々な違いや課題を超えて、すべての子どもが同じ環境で学び合う教育です。



日本共産党
元衆議院議員

畠山和也

12月3日 フェイスブックより

自公が過半数割れという時に、野党側の各党の態度が問われます。自公を助けるのか、新しい政治へ進めるのか。ぜひ各党の主張を聞き比べてほしいし、国会での対応に注目してほしいのです。

日本共産党は、参議院で「企業・団体献金禁止法案」「政党助成金禁止法案」を提出しました。あわせて、さまざまな要求



の実現に他党とも力をあわせます。国会での徹底した議論も、おおいに進めましょう。この変化を前向きなものへ進めるために、世論も大きくしなくては。やりがいがあります。(本文一部抜粋)